


# 区政のここが聞きたい

## 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



### 施設見直し改修費節減 在宅医療、不活化ワクチン推進を

自由民主党目黒区議団 飯田 倫子 議員

#### <住区センター施設の見直し>

今後の使用方法等について、検討組織の立ち上げを会派として要望したが、(1)どのようなメンバーで、いつ、どのように検討するのか。(2)包括外部監査から使用料の低さを指摘されたが、(ア)維持管理費の区の財政負担をどう考えるか。(イ)施設利用率をどうとらえているか。(ウ)管理委託費の内容と経費をどのように考えるか。(3)今後の大規模改修について、有効活用と改修費節減のため施設統合・集約を考えているか。

**区長** (1)有識者等による検討委員会を設置し、平成25年末を目途に住区センターを含む区有施設の抜本的な見直しを検討する予定である。(2)(ア)施設使用料は、平成25年中の改定に向け取り組んでいく。(イ)利用率の低い施設は、見直しの中で用途等検討していく。(ウ)一施設当たり平均830万円の管理委託費は人件費が主で、経費的には必要最低限と考える。(3)具体的には今後の検討結果によるが、施設の統廃合や運営方法の見直しは必要と考える。

#### <介護保険事業計画>


(1)介護と医療の連携強化、在宅療養の

推進について、今後のスケジュールと方向性を聞く。(2)介護認定を受けていない高齢者等への戸別訪問を検討せよ。(3)定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスを、区内中小事業者が参入しやすい制度とせよ。

**区長** (1)在宅療養推進協議会(仮称)を平成25年中に設置し、在宅療養の総合的な推進に取り組んでいく。(2)一人暮らし高齢者等で、何らかの支援が必要な方への施策のあり方について、総合的に検討していく予定である。(3)介護と看護の各事業者が連携してサービスを提供する連携型の応募を可能とするなど、区内中小事業者が参入しやすい環境づくりに向け検討していく。

#### <ポリオワクチンの見直し>

(1)国の動きはどうか。(2)不活化ワクチンの希望者を把握しているか。不活化ワクチン接種の助成を検討しているか。**区長** (1)平成24年秋に導入という厚生労働大臣の発言もあり、動向を注視していく。(2)保健所の乳幼児健診で、保護者から不活化ワクチン導入を望む声を伺っている。安全性や補償の課題等を考慮し、調査研究していく。



### 「安心安全に暮らせる目黒」・「防災に強い目黒」を!

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

#### <第一次避難所>

(1)避難所を模擬体験することで、運営課題を考えるHUG(避難所運営ゲーム)について所見を伺う。(2)防災用障がい者名簿登録の推進強化を図れ。(3)福祉工房などに福祉避難所を設置せよ。(4)第一次避難所に太陽光発電と蓄電池設備等を設置せよ。(5)救助用具を住区に設置し、各家庭に装備の啓蒙を図れ。(6)避難所運営マニュアルに女性の意見を取り入れよ。


**区長** (1)訓練等で活用できるよう検討していく。(2)障害者手帳の交付申請時に呼びかけて、登録者数の増加を図っていく。(3)避難所使用の見直しの中で検討予定である。(4)財政上の対応等も必要のため、検討課題とする。(5)第一次避難所の防災倉庫等へ配備した。区民向けには、防災行動マニュアルにより啓発に

努める。(6)女性の視点を入れた運営ができるよう、マニュアルの再整備を図っていく。

#### <第5期介護保険事業計画>

(1)介護保険料を、現行の案よりさらに低所得者層に配慮し、負担軽減を図れ。(2)介護にあたる家族が休息を取れるようにする「レスパイトケア事業」の拡充を検討し、民間事業者と連携せよ。(3)在宅介護支援を強化するため、24時間巡回型訪問介護の体制整備の拡充など、今後の計画について問う。

**区長** (1)保険料率の見直し等で低所得者層に配慮していく。(2)複合型サービスの適切な事業者の整備誘導等により、レスパイトケアの拡充を図っていく。(3)日常生活圏ごとに計画的なサービス拠点の設置を進めるなど、区として適切な事業所の整備誘導に努めていく。



### 原発ゼロ、特養ホーム、図書館、学校統廃合を問う

日本共産党目黒区議団 星見 てい子 議員

#### <原発ゼロめざす目黒へ>

(1)区長の原発廃止への態度を問う。区の「原発ゼロ」宣言を提案する。(2)簡易放射線測定器を区民に貸し出し、汚染除去を一挙に進めよ。内部被ばく対策として食品用放射能測定器を購入せよ。(3)「原発ゼロ」めざす「目黒区自然・再生可能エネルギー計画」を策定せよ。

**区長** (1)原子力政策は、国が責任を持つべき問題である。原子力発電の依存度はできる限り低減させることが基本と考える。(2)区の測定結果では、国の除染基準を超える値は計測されていない。給食等も民間検査機関で検査を実施するため、測定機器等の購入は考えていない。(3)地球温暖化対策推進を重点施策としており、引き続き新エネルギー機器等の設置費を助成する。

#### <千人の特養ホーム待機者対策>

(1)緊急財政対策の特養ホーム建設凍結で待機者解消が見えない。建設計画を示せ。(2)老老介護で人間の尊厳が踏みこじられている。独自のヘルパー制度で足りない在宅介護を補え。**区長** (1)施設整備だけで要介護者の対応は困難で、在宅生活を支える「地域包括ケアシステム」の構築など施策の充実に努


めていく。(2)ヘルパー派遣は、介護保険サービスの適切なケアマネジメントの元で提供されるべきなので、独自には行わない。

#### <図書館の時間短縮をやめ充実を>

(1)3億円削減のため8館で14名もの職員削減で時間を短縮し、サービスの水準を維持できるのか。(2)営利追求の民間業者に託する指定管理者制度は、図書館になじまないと思うがどうか。**教育長** (1)館の役割分担等や、効率的な運営でサービスを維持していく。(2)指定管理者ではなく、業務委託の拡大などで効率的な運営を図っていく。

#### <中学校の統廃合より少人数学級を>

(1)少人数学級を推進すれば学級数も教員も増える。不況のなか公立校への進学要求も増える可能性がある。統廃合の緊急性はない。どうか。(2)豊かな教育を進めるなら、少人数学級こそ本格推進すべきではないか。**教育長** (1)生徒数減少による区立中学校の小規模化は進行しており、子どもたちのために適正規模の中学校の実現を目指していく。(2)少人数学習や習熟度別学習など、個に応じた指導も一層の充実を図っていく。



### おかしい! 青木区長 区の災害訓練ドタキャンし気仙沼へ

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

<大震災で防災計画を修正しない怠慢> 目黒区地域防災計画を修正、改訂しないのは怠慢だ。災害対策基本法では、防災会議は毎年防災計画に検討を加え、必要があるときは修正しなければならないと定めている。大震災を教訓にして、なぜ、計画を修正しないのか。


**区長** 市町村地域防災計画は、国の防災基本計画、中央省庁等の防災業務計画、都道府県地域防災計画に抵触してはならないとされている。東京都は、地域防災計画を平成24年11月を目途に修正する予定であり、本区の地域防災計画は東京都の同計画の修正内容との整合性を図りながら対応していく。

#### <区長が災害訓練欠席! 気仙沼市へ>

東日本大震災から1年後の3月11日午後、「災害対策本部初動対応訓練」を行うと発表した。災害対策本部長は青木英二区長だ。青木区長が同席した会議で、出席

することを決定した。ところが、その後青木区長は、友好都市である被災地の気仙沼市の追悼会に出席し、目黒区の訓練を欠席すると決めた。本部長である青木区長が重要な区の災害訓練をドタキャン(突然キャンセル)するとは何事か。本部長が欠席した訓練では意味がない。気仙沼市の追悼会の日程はわかってははずだ。なぜ、こんな災害訓練の日程を組んだのか。

**区長** 災害対策本部初動対応訓練は、例年1月17日に実施しているが、昨年、東日本大震災の経験を生かし、3月11日に実施することとした。当日は気仙沼市の追悼式に出席することが必要と判断したが、本部長が不在でも職務代理制度が設けられており、本部設置運営に支障が生じないような措置が取られている。



### 災害時の備え!民間組織力の支援! 子どもの力を伸ばせ

自由民主党目黒区議団 いその 弘三 議員

#### <災害時の水利>

水道直結式への切り替えによって使用しなくなった集合住宅の受水槽や高架水槽は、震災時の雑用水や火災時の水利として役に立つ。大規模災害の発生時にこのような既存の水利を活用できる方策を考えよ。

**区長** 使用しなくなった受水槽や高架水槽を残すことは、建物の維持管理や落下等の危険防止の面から難しい。災害時に使用する消防水利の確保については、建築主に対し、建築物の規模に応じて防災貯水槽の設置に努めるよう求めており、今後は建築主との協議で理解を得るようにしていく。

#### <民間組織力の支援>


阪神・淡路大震災から17年、新潟県中越地震から7年半、東日本大震災から1年と、日本は大規模な地震に見舞われ、今なおさまざまな難題に直面している。さらに目黒区では、財政基盤の弱さから、緊急財政対策による事務事業の削減が進められている。行政の責務、個人の責務と役割

の相違はあるが、「共に生きる」という意味ではどちらか一方への依存では立ち行かなくなる。行政職員の意識を改革し、自らの責任で行動できる町会、自治会、ボランティア、NPO等民間組織力を生かして育成する仕組みをつくれ。

**区長** 大規模災害時には、「公助」だけでなく、「自助」「共助」を担う民間組織を防災対策に位置づけることが必要である。防災対策を担ってきた行政職員の意識を改革し、「共助」の担い手である民間組織の活動への支援のあり方や、リーダーとなる人材の育成を図る方策などを今後検討していく。

#### <総合学習の成果を社会へ>

総合的な学習や探究的な学習を通じて得た「生きる力」を、実体験として地域などへフィードバックする仕組みを考えよ。**教育長** 総合的な学習の時間の取り組みは、学校や子どもの実態に合った内容を各学校が設定している。実社会と結びついた内容となるよう、今後学校とともに改善について研究していく。



### 学校における防災教育推進 区立中学校統合、武道必修化


刷新めぐろ 吉野 正人 議員

#### <避難訓練の充実>

東日本大震災を教訓に、実践的な避難訓練を導入せよ。**教育長** 訓練内容等の改善に努め、可能な範囲で訓練回数増加を図っていく。

#### <折りたたみ式防災ヘルメット>

登下校時や避難する際に落下物から頭部を守り、収納にも便利な折りたたみ式防災ヘルメットを導入せよ。**教育長** 改定中の学校防災マニュアル



### 次世代に誇れる 目黒を作るための努力を今。

みんなの党目黒区議団 秋元 かおる 議員

#### <財政規律の徹底>

事務事業見直しによっても、なお経常収支比率改善が見込まれない、財政健全化への道筋を明らかにするために、財政目標数値を定め、毎年進捗確認することで財政規律を徹底することができる「財政条例」を制定する考えはないか。

**区長** 財政運営のルール化の取り組みとして千代田区、大阪府の事例がある。これら先進自治体の取り組みを参考に、条例等も含め十分に検討し、将来の財政運営の考え方をまとめていく。

#### <歳入確保に向けた取り組み>


近隣区に比べ、賃貸マンションの空き部屋比率が高い。空き部屋を減らし、より多くの生産者世帯が目黒に住むことで住民税増収、空き部屋解消という2重の税収向上が見込まれる。(1)民間企業と協力した。ファミリー世帯向け家賃補助を充実する考えはないか。(2)事務事業見直

して、区民サービス低下が否めない。総合庁舎内の「公務員労働組合」に対する家賃減免を廃止し、家賃請求する考えはないか。

**区長** (1)企業の社員用に家賃助成する場合、家賃自体が高いため助成する金額が高くなり、区民税収入を見込んでも直ちに区の歳入増につながらないため、検討する予定はない。(2)区は条例等に基づき、団体の目的や用途、広さなどを総合的に勘案して行政財産使用料の減免を判断してきた。ほかの事務事業と同様常に見直しに努めるべきで、他自治体の動向等も踏まえ、調査・研究を行っていく。

#### <区立学校における防災教育>

災害時にとっさの判断を醸成する「目黒巻」を区内小中学校に導入できないか。**教育長** 学校と相談しながら、総合防災訓練等の時間で、防災教育の一環として活用するよう検討していく。



### 財政健全化への道筋を明確に 自転車総合政策を策定せよ

公明党目黒区議団 山宮 きよたか 議員

#### <財政の健全化>

(1)区有施設の老朽化に伴い、(ア)大規模改修や改築に多額の経費が見込まれているが、どのような研究・検討をしているのか。(イ)施設の現状と課題の掌握として「施設白書等による現状の見える化」とあるが、内容をどう考えているか。(2)平成27年度以降、区財政を健全な状態で行う経営戦略について、どのような準備、検討を始めているか。

**区長** (1)(ア)見直しは、施設整備の優先性と統廃合など多岐にわたり、平成25年度末には抜本的な方針を策定していく。(イ)区有施設の課題を図表等で分かり易く説明するものが仮称「施設白書」であり、「施設の見える化」であると考えている。(2)施設見直し等行革計画のプロジ

ェクト等を確実に実行し財政基盤を確立することで、平成27年度以降の安定的財政運営を目指していく。

#### <自転車の安全利用>

(1)東京都が検討を進めている「自転車条例制定」に、目黒区はどう対応するのか。(2)都市交通における自転車の位置づけを明確にした総合的、複合的な交通戦略を確立し、自転車の安全利用を促進するために「自転車総合政策」を策定する考えはあるか。

**区長** (1)自転車に係る問題には区民の声も多く、条例が制定された場合には、必要な対応を図っていく。(2)実施計画決定の中で、自転車の安全利用等総合的な方策について検討していく。

平成23年度の区議会情報の開示請求件数は、平成24年3月31日現在6件です。内容は次のとおりです。

|            |    |
|------------|----|
| ○ 委員会会議録   | 1件 |
| ○ 委員会視察報告書 | 3件 |
| ○ 政務調査費    | 2件 |

このうち全部開示4件、部分開示2件でした。  
(問い合わせ)区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413

に、折り畳み式ヘルメット着用も掲載する方向で検討している。

#### <放射線教育>

文部科学省が作成した副読本を、今後の放射線教育でどのように活用するか伺う。**教育長** 小中学校の放射線指導を、同副読本を活用して実施していく。

#### <区立中学校統合>

現在の小学校3～5年生に対する落ち着いた環境での統合、高校受験を控えた生徒に対しての対応について伺う。

**教育長** 開校に向けた移行期間中に、両校生徒の交流や教育課程編成の整合性等を図り、一体感を持って新学校生活を始められるように努めていく。

#### <武道必修化>

中学校学習指導要領改定による保健体育の武道必修化に伴う、柔道授業実施時の安全確保策を問う。**教育長** 各校の年間指導計画に安全配慮事項が適切に記載してあるか確認し、指導方法等も指導・助言する。保健体育教員へは事前研修を行い、安全確保に努める。